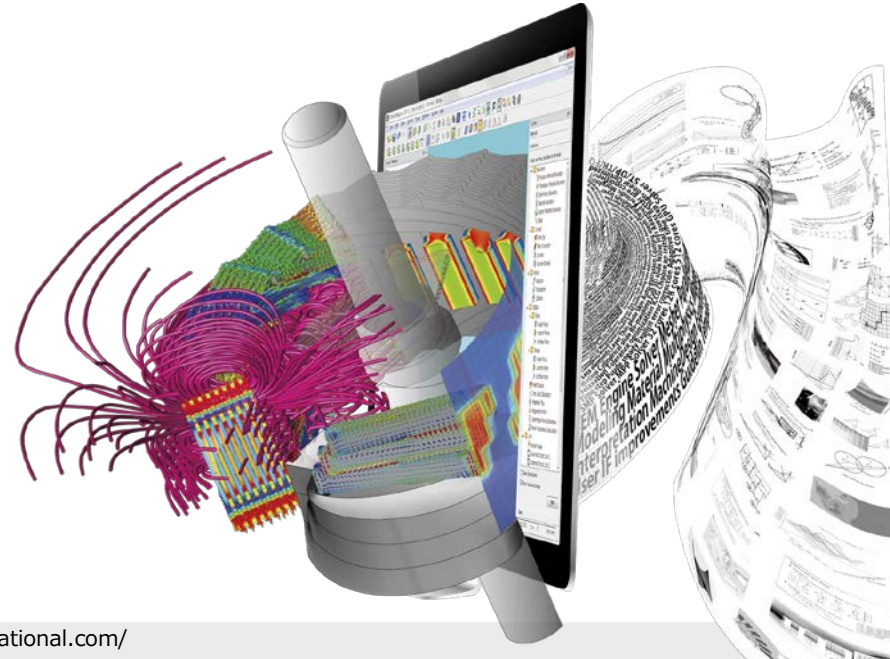


作成 2019年2月
更新 2020年3月

JMAG-Studioをご利用の皆様へ

株式会社JSOL
JMAGビジネスカンパニー

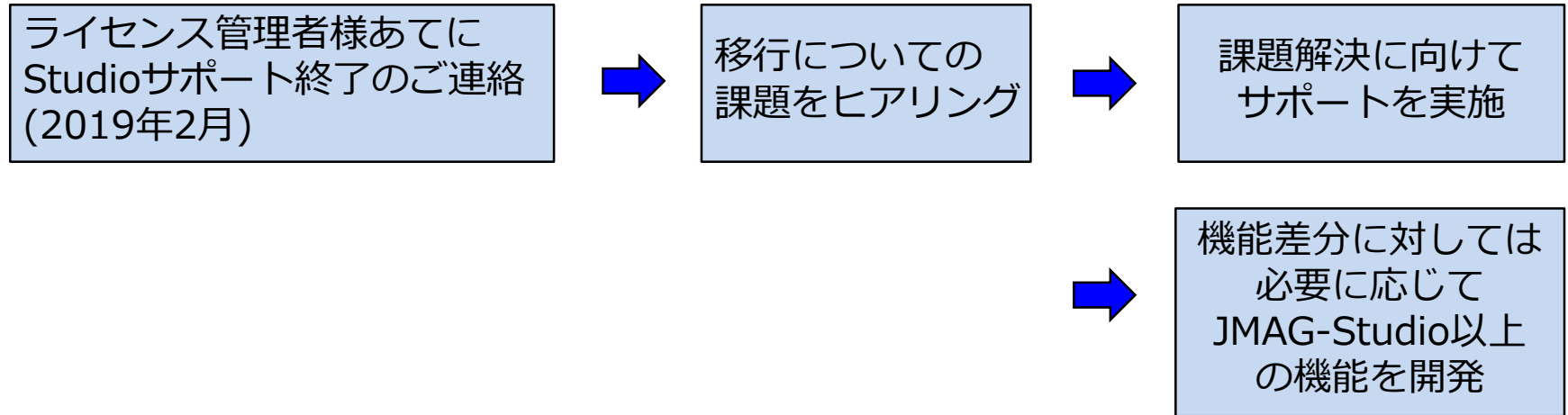


はじめに

- JMAG-Studioは2013年に開発終了いたしました。
 - ご参考：JMAG-Studioメンテナンス終了のお知らせ
<https://www.jmag-international.com/jp/press/nr20130228/>
- JMAG-Studioの開発終了に伴い、JMAG-Studioのサポートを2020年12月末をもって終了いたします。
 - 2021年以降に発行させていただくライセンス形態はLM-Xのみとなり、JMAG-Studio/JMAG-Designer15.0以前は起動できなくなります。
- JMAG-Studioが使用できなくなることが問題になる場合は、具体的な移行問題をご連絡ください。
 - 問題解決に向け、サポートいたします。

JMAG-Designerへの移行支援

- JMAG-Studioのサポート終了後も安心して使っていただけるよう、移行支援を行っております。



これまでにいただいている主な移行課題

1. JMAG-Studioの解析資産が活かせなくなる
2. NASTRAN ファイル出力ができない
3. 入出力ファイルの中身をテキスト編集できない
 - 自社の内製ツールがSSV、PLOTファイルのテキスト編集を前提としている
4. 手動メッシュについて機能差分がある
 - メッシュモデルの操作性がJMAG-Studioに比べ悪い
 - 要素ごとに材料を割り当てる手順が煩雑
 - JMAG-Designer上で節点移動ができない
5. JMAG-Studio のスクリプトがJMAG-Designerで使用できない

1. JMAG-Studioの解析資産の活用

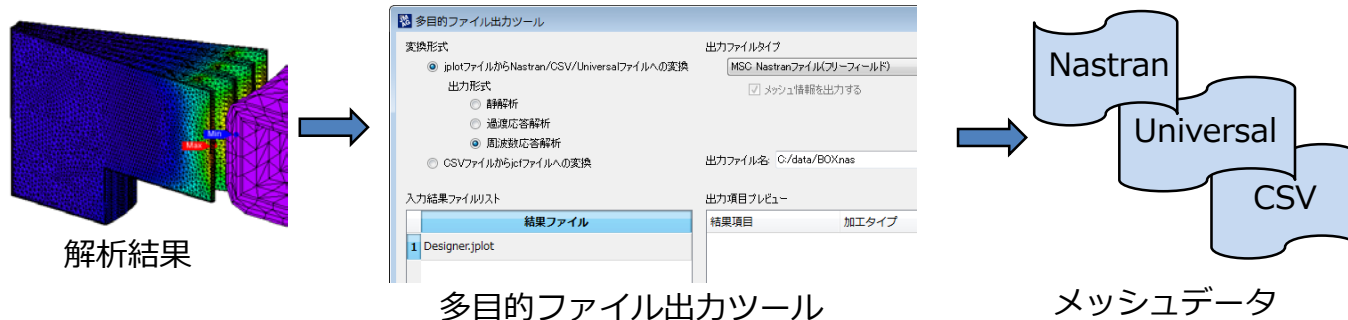
- JMAG-Designer では jcf/plot ファイルの読み込みをサポートしており、これまでの資産は引き続きご活用いただけます。

ファイルの種類	対応	備考
JCF ファイル	○	
JSP ファイル	×	セーブデータ、ソルバーデータは JCFファイルとして保存が必要
セーブデータファイル(*.ssv)	×	
ソルバーデータファイル	×	
回路情報ファイル (*.cct)	○	
結果ファイル (*.plot)	○	

JMAG-StudioのファイルのJMAG-Designerにおける読み込み可否

2. NASTRANファイル出力

- 多目的ファイル出力ツールにて、メッシュデータに分布量をマッピングし出力できます。
 - 分布量のマッピングのため、解析結果が必要です。



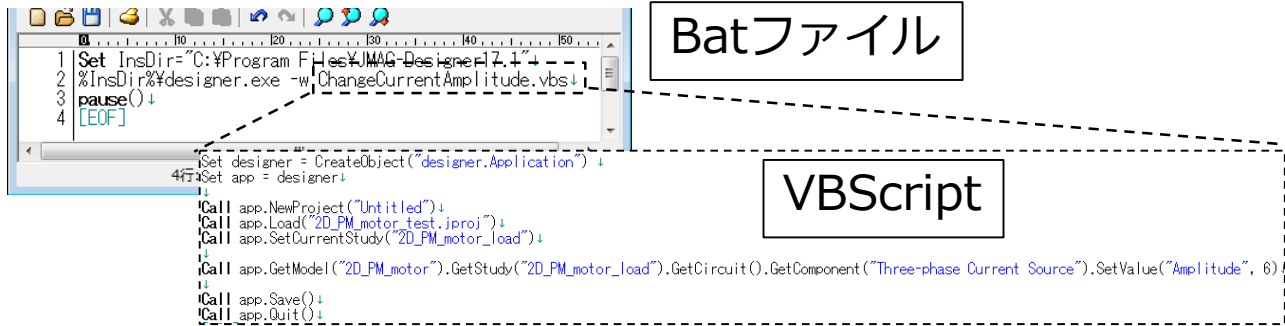
- 詳細は機能チュートリアルをご覧ください。

- JFT022 多目的ファイル出力ツールによる物理量のファイル出力

https://www.jmag-international.com/jp/tutorial/jft022_multi-purposefileexporttool/
 (閲覧にはユーザIDとパスワードが必要です)

3. 入力ファイルの直接編集

- 下記いずれかの方法で、JMAG-Designerで入力ファイルを開くことなく解析条件が変更できます。
 - SimpleFHI
 - ◆ Excel VBA、C/C++ を介してJCFファイルの解析条件を変更可能
 - スクリプト(VBScript、Python、JScript 言語)
 - ◆ JPROJファイル内のスタディの解析条件を変更可能



```

1 Set InsDir="C:\Program Files\JMAG-Designer\17.1"
2 %InsDir%\designer.exe -w ChangeCurrentAmplitude.vbs
3 pause
4 [EOF]
  
```

```

Set designer = CreateObject("designer.Application")
Set app = designer
Call app.NewProject("Untitled")
Call app.Load("2D_PM_motor_test.iproj")
Call app.SetCurrentStudy("2D_PM_motor_load")
Call app.GetModel("2D_PM_motor").GetStudy("2D_PM_motor_load").GetCircuit().GetComponent("Three-phase Current Source").SetValue("Amplitude", 6)
Call app.Save()
Call app.Quit()
  
```

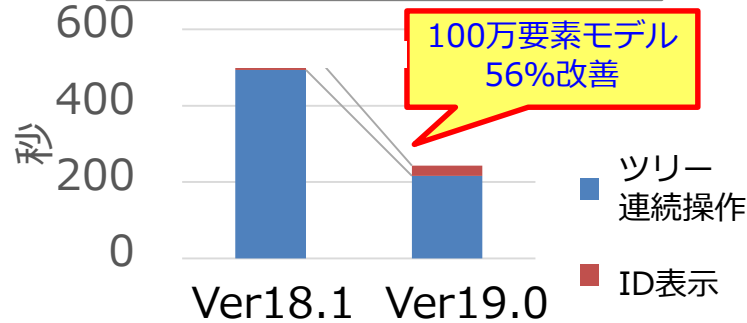
回路の3相電流源の電流振幅を6Aに変更するスクリプト例

3. 出力ファイルの直接編集/参照

- 下記いずれかの方法で、編集、参照が可能です。
 - 多目的ファイル出カツールにより、分布量をマッピングしたメッシュデータを出力
 - ◆ Nastran/Universal/CSV形式による出力
 - ◆ 出力したファイルに対し、直接編集、参照が可能
 - APIを利用した分布量データの取得 Ver19.0
 - ◆ 結果ファイル(*.jplot)から分布量を直接取得可能(編集は不可)
 - ◆ 詳細は機能チュートリアルをご覧ください。
 - JFT095 結果ファイルからの分布量データの取得
https://www.jmag-international.com/jp/tutorial/jft095_jplotaccessapi/
 (閲覧にはユーザIDとパスワードが必要です)

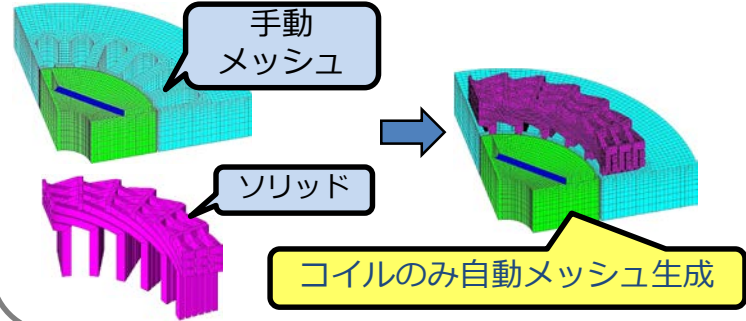
4. メッシュモデルの操作性向上

大規模モデルのGUI応答性を短縮



ソリッド・メッシュの混合モデルによるメッシュ生成の効率向上

Ver19.0



メッシュパーツの操作性向上

形状エディタ

Designer

Ver19.0

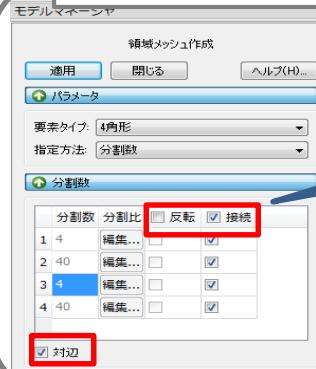
- メッシュパート1
- RotorCore
- メッシュパート2
- Magnet

- アセンブリ
 - メッシュパート1/RotorCore
 - メッシュパート2/Magnet
- アセンブリ
 - RotorCore
 - Magnet

インポート時にパート名を部品名に含めないオプション

メッシュパート作成の効率向上

Ver18.1



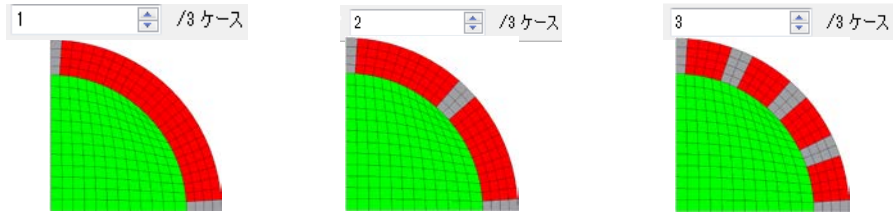
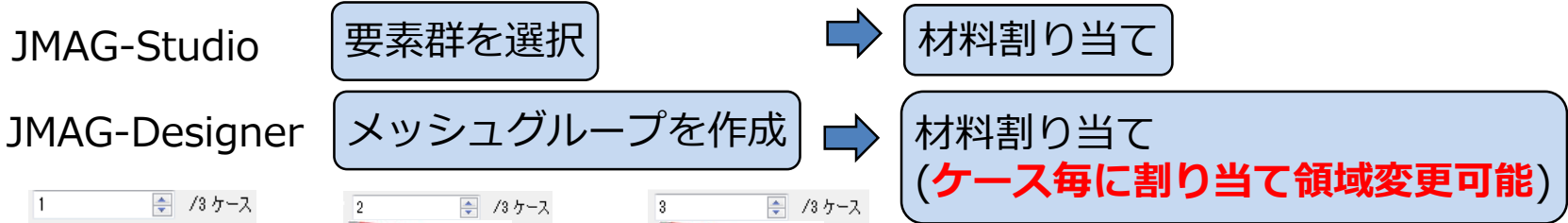
分割数、節点接続の設定を補助

要素、メッシュブロックの表示/非表示切り替え可能

4. 要素毎の材料割り当ての簡素化

Ver19.0

- JMAG-Studioとほぼ同等の手順でご利用いただけます。



SPMモータのロータ磁石の分割例(灰は空気、赤は磁石、緑は電磁鋼板)

- 詳細は機能チュートリアルをご覧ください。

- JFT100 要素ごとの材料割り当て

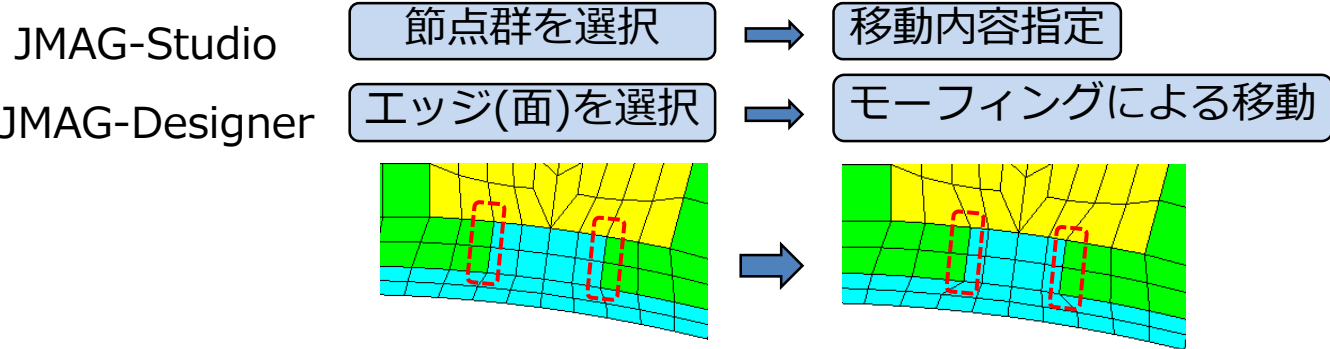
https://www.jmag-international.com/jp/tutorial/jft100_changematerialperelement/

(閲覧にはユーザIDとパスワードが必要です)

4. JMAG-Designer上の節点移動

Ver19.0

- 形状エディタに戻ることなく、JMAG-Studioとほぼ同等の手順でエッジ(辺)上の節点を移動できます。



モータのティース幅の変更(緑はティース、青は空気、黄はコイルを表す)

- 詳細は機能チュートリアルをご覧ください。

- JFT093 モーフィング機能を使った形状変更

https://www.jmag-international.com/jp/tutorial/jft093_movenodesmorphing/

(閲覧にはユーザIDとパスワードが必要です)

5. JMAG-Studioのスクリプト

- JMAG-DesignerはJMAG-Studioのスクリプト言語をサポートしておりません。
- JMAG-Designerのスクリプト言語(VBScript、Python、JScript)にてスクリプトの置き換えをお願いしております。
- 置き換え方法が不明などの問題がありましたらご相談ください。

お問い合わせ先

株式会社JSOL

JMAGビジネスカンパニー

TEL : 03-5859-6007

E-mail : info@jmag-international.com

WEBサイト : <https://www.jmag-international.com/jp/>

JMAG-INTERNATIONAL Webサイト



LinkedIn

@ JMAG-japan
www.linkedin.com/company/jmag-japan



facebook

@JMAGJapan
www.facebook.com/JMAGJapan/



YouTube

@ JMAGTVJapan
www.youtube.com/user/JMAGTVJapan/



※JMAGは株式会社JSOLの登録商標です。当資料を株式会社JSOLの許可無く複製、配布することを禁じます。